



展示解説シート

よみがえる北の鬼

鬼 剣 舞

鬼剣舞は、北上地方に^{でんしやう}伝承されている民俗芸能です。広くは^{ねんぶつ}念仏を唱えながら舞う念仏踊りの一つですが、恐ろしげな鬼の面をつけて踊るところから「鬼剣舞」と呼ばれています。

〔由来〕

岩崎鬼剣舞の享保17年（1732）の「^{けんぱい ゆゐりく}剣舞由来録」によると、

- (1) 大宝年間（701～704）修験山伏の祖・役の行者（おづぬ）が大和国吉野川上流で水垢^{みずこ}離^りをとり、大峰山で^{くぎやう}苦行し、その満願^{まんがん}の夕暮れに踊った念仏踊りに始まり
- (2) 大同年間（806～810）には出羽国羽黒山で舞われ、その修験山伏によって広められ
- (3) 康平年間（1058～65）には安部貞任・正任がこの踊りを好んで^{あべのさだとう まさとう}領内に^{りやうない}勧めたそうです。

その後、

- (4) 延文5年（1360）には岩崎城主岩崎弥十郎が主君の和賀政義を招き、城内で踊らせたところ、政義はおおいに喜び家紋の一つ「笹リンドウ」の使用を許可したといひます。

鬼剣舞は、中世の「念仏踊り」をもととしながら、近世初頭から中期までには現在見るような^{げいたい}芸態が出来上がっていったものと思われます。



鬼の館・鬼剣舞公演〔岩崎鬼剣舞〕 野外ステージにて

【面と衣装】

面は威嚇的な面で、一般には鬼面と呼ばれています。

口を開いて「あ」を発音しているような「阿」面と内に力をためているように口を結んだ「吽」面があります、色は4色でカッカ面（カ）の黄を入れて5色ともいわれています。面は、次のように、陰陽五行説の方位や四季を表すとともに、仏教の五大明王（ごだいめいおう）を象徴しています。



※写真協力：小田島初雄氏（岩崎鬼剣舞）

【演目】

鬼剣舞の踊り手は、8人を基本としています。

演目には、一番庭（礼舞）・二番庭・三番庭・刀剣舞・一人加護・二人加護・三人加護・八人加護・宙返り・カニむくり・膝舞など18種類があります。

現在、北上市には、岩崎系と滑田系の2系統13組が伝承されています。

一番庭

礼舞。念仏つき、格調高く、全体的にゆるやかな踊り。金演目の基本の踊りとされる。引き念仏で踊りだし、掃き念仏、早念仏、せんや念仏、扇の輪踊りと続く。



三番庭

基本の型は、一番庭、二番庭とはほぼ同様であるが、より勇壮な踊り。一列で扇を開いてふりながら振り込む「出がかり」があり、引き念仏、掃き念仏はなく早念仏、せんや念仏が唱えられる。扇の使い方に特徴がある。



刀剣舞

太刀踊りで勇壮な中にも風格がある踊り。引き念仏で振込み、早念仏を踊り、扇の舞のあと刀の輪踊りと続く。



二番庭

神社に参詣する際、最初に振り込む踊りとされる。一番庭とはほぼ同じであるが、一段と華麗。狂い踊りはない。



がつかた

道化面（だくわめん）を付け、おどけた所作で現われる。仏の化身であると考えられ、剣舞を呼び込む役割を担う。



扇舞

余興的な演目。2枚のヘギを持って舞う。修験山伏（しゆげんさんぶつ）の腕力を表すものといわれる。余興的なものには他に「宙返り」「カニむくり」がある。



カニむくり▷



三人加護

仏恩を受けた勇者の踊りという。地を踏み、四方を鎮め固めるヘンバイの所作を行い、五穀豊穰・悪魔退散の祈りを込めて踊られる。



八人加護

勇壮に荒れ狂う武者の乱舞。踊りも曲も変化に富む。刀くぐりや刀またぎを行う。



[秘伝書]

鬼剣舞の伝承は、師匠から弟子に秘伝書の伝授というかたちで行われてきました。現在伝えられている最も古い文書は、岩崎鬼剣舞の享保17年（1732）の秘伝書です。

この秘伝書には、由来、演目の目録、念仏回向などのほか、笹リンドウ紋の由来が記されています。

小田島了氏蔵



言傳

延文五庚子年春二月
岩崎城主岩崎孝十郎
主君相賀左近衛政義
殿を城内に招きしとき
舞を城内にて舞はしむ。政
義殿大いに賞賛なり笹
リンドウの紋の使用を許
可せられたり、其れより笹
リンドウの紋を使用せるものなり
と言傳あるものなり。

念仏剣舞由来録

抑念仏剣舞元初年ハ大同
三歳 羽黒山峯中機僧都法
印書行院 荒澤漢大明神ノ
御堂ニコモリ、令一勸行 延二、有ル夜何
國トモナク老僧一人御座。色々物語シ
テ有リケルカ、鳴動シテ亦御一人老僧座
シテ御言有。世俗人令折轉候事、先
以テ大一小舞トテ惡惡退散菩提
ト成ルナリト玉フ。其ノ時我レニ念佛
舞ヲ教シ、是ハ如意樂榮菩提ト成
ルナリト、ノタマワトハアリカサシト、
シテ答ケル。御寄僧二人之内御座
拍子亦御一人ハ拍子取、劍舞ヲ
教玉ト也。舞終、則光我コソハ金
剛界大日、我コソハ大藏界大日ノ化
身ナリト、御諸ノ主玉ト、則消
ヘ玉フ。誠ニアリカシメタ、頭ヲ地ニ
付、虚空ノ二度拜。夫ヨリ念佛
劍舞始ル也。誠ニ以可尊者也。

岩手県内には、120をこえる剣舞の踊り組があり、これらは、ひな子剣舞やちご剣舞のように子どもが担うものや大念仏のように美しい笠振りを伴うものなどおおよそ6つの形態に区別することができます。

剣舞は、「剣の舞」の語が当てられています。発音の「ケンバイ」「ケンベエ」に当て字したものと考えられています。その語源は、陰陽師や修験者（山伏）が用いる呪術の一つで、悪いものを踏み鎮め、邪気を払う行い「反ばい（ヘンバイ）」に求められると言われています。



ショウソク



オッコミ

川西念仏剣舞面



阿



呼

朴ノ木沢念仏剣舞面



一剣舞



ささらすり

赤沢 鎧 剣舞面

北上市立 鬼の館 展示解説シート よみがえる北の鬼・鬼剣舞

北上市立

鬼の館

〒024-0321 岩手県北上市和賀町岩崎16地割131番地

TEL 0197-73-8488 FAX 0197-73-8508